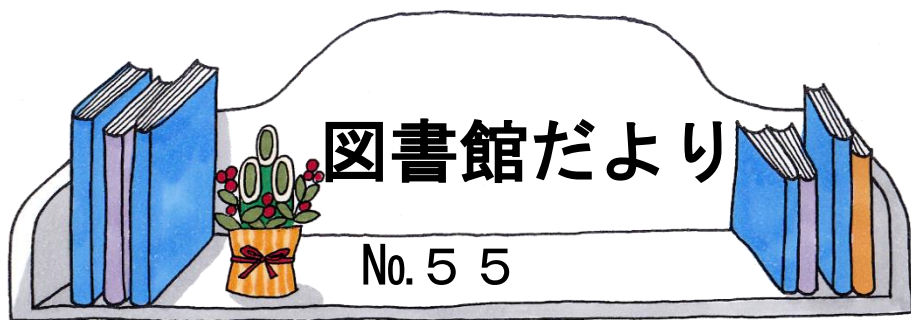




令和 7 (2025 年) 1 月発行
宇部市立原小学校 学校図書館

新しい年が始まりました。1 月は旧暦で「睦月(むつき)」とも呼ばれます。仲良く親しむことを意味する「睦む(むつむ)」という言葉から、お正月に家族や親類が仲良く過ごす姿を表したことが由来とも言われています。今年も原小の子どもたちには、図書室でゆったりと本を読んで過ごしてほしいと思います。

今年もよろしくお願いします。

3 学期が始まって早々に、中間タイムやお昼休みに図書室にきてくれています。特に 1 年生は、たくさん人が、読書の足あと」を書いたり本を読んだりして、図書室で過ごしています。3 学期もたくさん本を読んでほしいと思います。



「図書ビンゴ」を行っています。

1 月 17 日から「読書ビンゴ」を行っています。9 マスそろうと 1 枚が終わるようになっていて、終わると図書委員作成の素敵なしおりがもらえます。また、6 種類のビンゴを用意しているので、1 枚で終わりではなく、何枚も取り組めるようになっています。何枚か取り組むことで、いろいろなジャンルの本を読めるようになっています。2 月 17 日まで行っているの、たくさん子どもたちに取り組んでほしいです。



図書委員作成のしおり。10 種類以上あります。



「図書ビンゴ」を全校のみんなに説明するために、図書委員がお昼休みに集まって準備をしました。



初日の昼休みには、図書ビンゴを書くために、たくさんの方が来てくれました。



1 月はへびが主人公の本を図書室に置いています。



毎年 1 月に人気者になるのが、干支の動物です。今年の干支である巳(へび)は神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされています。「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられているそうです。へびが主人公の本を図書室に展示し、クラスによっては読み聞かせを行いました。少しご紹介します。ぜひご家庭でも読んでみられませんか。

『へびのクリクター』

作・絵: トミー・ウンゲラー
訳: 中野 完二
出版社: 文化出版局

『さるのせんせいとへびのかんごふさん』

作: 穂高 順也
絵: 荒井 良二
出版社: ビリケン出版

『ながいながいへびのはなし』

作: 風木 一人
絵: 高島 純
出版社: 小峰書店

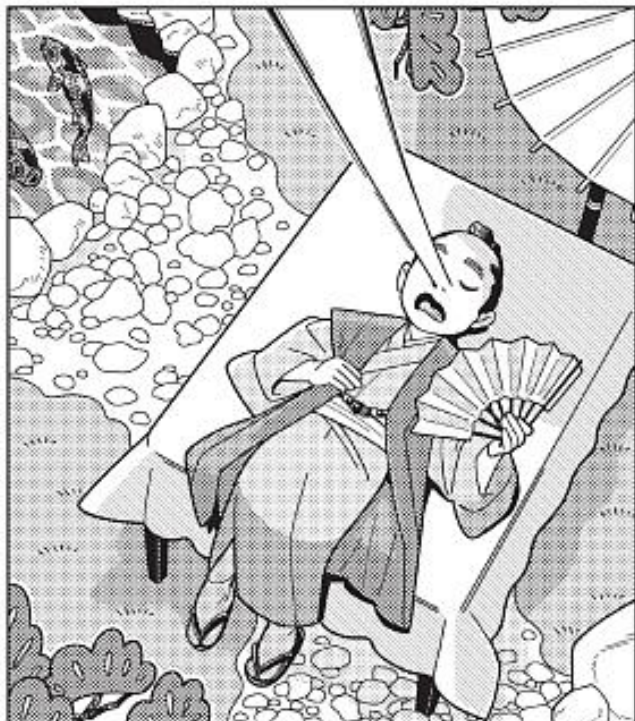


お話 まちがい探し

『はなたかおうぎ』

きこりが、ねころんでひなたぼっこをしながら、おうぎの表でうっかりあおいでいたら、鼻がどんだんのびて……。

下の2枚のイラストには5つのまちがいがあります。いくつ見つけれられるかな？



まちがい探しの答え

『はなたかおうぎ』



①だんご ②おうぎ ③右足の位置 ④カメ ⑤石

〈今回の激ムズポイント〉

正

誤



すべて答えられたかな？

日本・世界のお話カード

表であおぐと高くなり
裏であおぐと低くなる鼻

『はなたかおうぎ』

さいわ おざわとしお・かとうこうぎ

昔、きこりが山で一本すぎを切ろうとすると、てんぐさまに「切るな」と言われました。そして、表であおぐと鼻が高くなり、裏であおぐと低くなるおうぎをもらいました。そこできこりは、そのおうぎで若い女の人の鼻を自由自在に直す商売を始め、たちまち

長者になりました。何不自由なく暮らすようになったきこりは、ひなたぼっこをしながら、うっかりおうぎの表であおぐと、鼻がどんだんのびて、天のかみなりさまたちのいりりばたにつきました。かみなりさまがひばしで鼻先をさすと、きこりはびつくりしておうぎの裏であおぎ始め、天に向かって体が上がっていききました。やがて鼻にささったひばしをぬかると、きこりは大地に落ち、あおがえるになりましたとさ。

※このお話は、くもん出版から出ています。